

東日本大震災の記録



いわき建設事務所
復旧・復興課 主査 中濱 早苗

全国的に類を見ない大規模地すべり災害に挑む！【いわき石川線】

施工場所:いわき市渡辺町上釜戸地内

1. 概要

- 平成23年4月11日にいわき市周辺を襲った最大震度6弱(M7)の直下型地震により、いわき市渡辺町上釜戸地内において、延長約300mにわたって大規模な地すべりが発生し、県道いわき石川線が全面通行止めとなった。
現地調査の結果、頭部滑落崖付近に地すべり面の露頭と尾根のずれ(2m)が確認され、全国的にも類を見ない大規模地すべり災害であることが分かった。

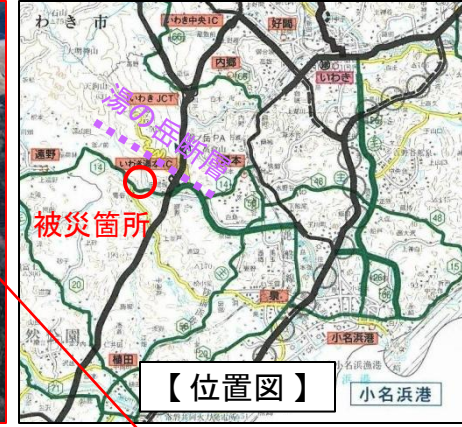
2. 経緯・課題

■ 経緯

- 平成23年 4月11日 東日本大震災の余震発生
県道いわき石川線通行止め
- 平成23年 4月26日 「県道いわき石川線法面崩落通行止め 関係機関連絡調整会議」開催
(第2回:5/11、第3回:6/30に開催)
- 平成23年 6月13日 道路応急工事に着手(L=463.5m)
- 平成23年 8月31日 応急工事完成・通行止め解除
- 平成23年 10月7日 災害査定実施(第13次災害査定)
- 平成24年 3月16日 道路災害復旧工事に着手
- 平成24年 11月 8日 仮道工事線切替完了(第2段階)
- 平成25年 1月 21日 仮道工事線切替完了(第3段階)

■ 課題

いわき石川線は重要港湾小名浜港と県中・県南地域の物流拠点を連携する幹線道路であるとともに、日常生活を支える生活道路となっているため、経済活動の回復を支援するために早期の通行止め解除が求められていた。

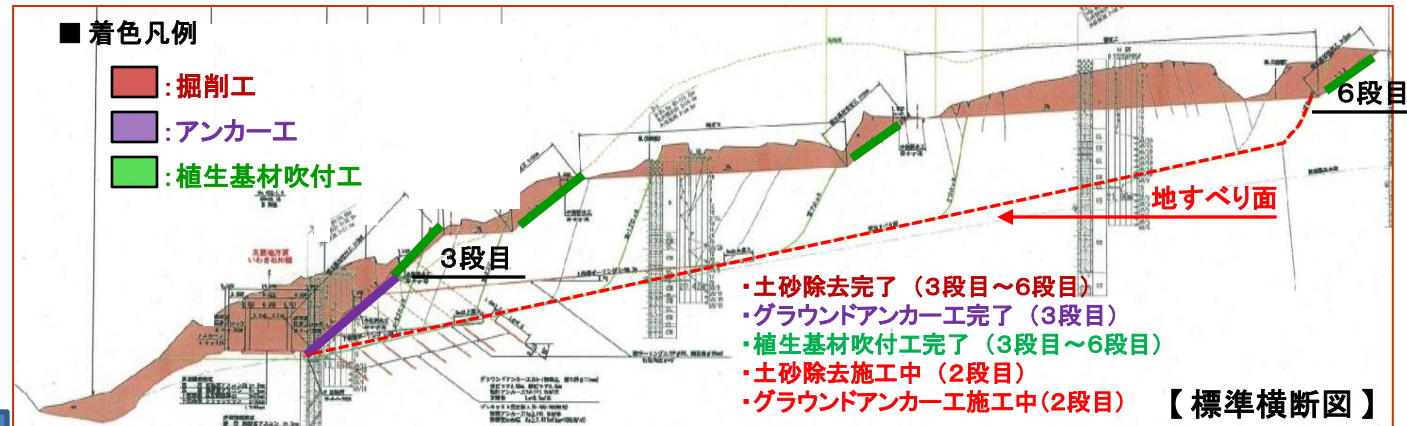


3. 内 容

【工事費】 約22億円

【工事内容】(H25年1月末現在)

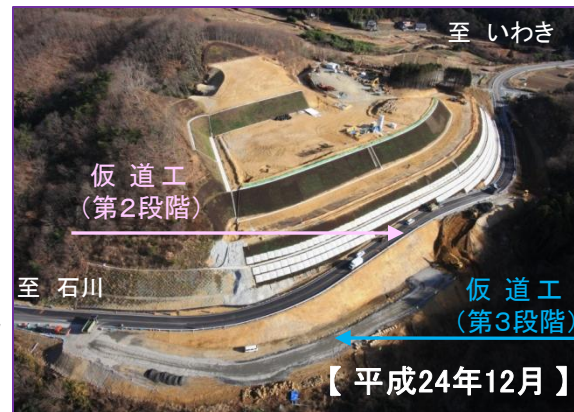
- ・掘削工 V= 約19万m³
(進捗率 81%)
- ・アンカー工 N= 575本
(L=11.0~33.5 m/本)
(進捗率 50%)
- ・植生基材吹付工
A= 9,410m²
(進捗率 75%)



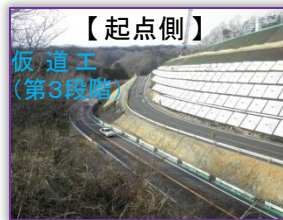
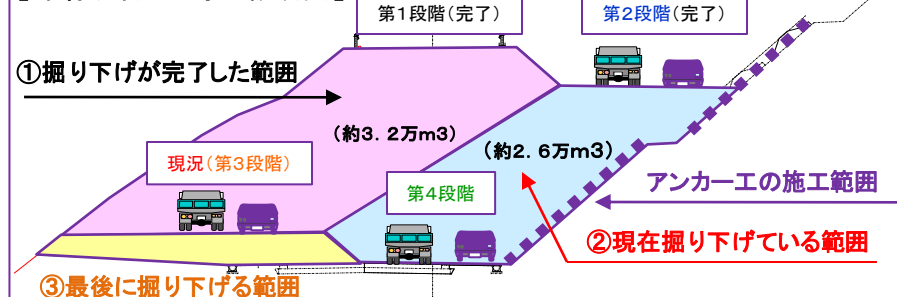
4. 進捗状況・創意工夫

・仮道工は崩落した土砂の末端部にそのまま造ったものなので、最終的には被災前の道路の高さまで最大約14m掘り下げる必要がある。

現在、第3段階までの車線切り替えを完了させ、第4段階に向けた掘り下げ工事を行っているが、2車線の安全な交通を確保しながらの工事となるため、これまで同様に綿密な現場監理と安全監視を実践し、1日も早い工事完成を目指します。



【車線切替え工事の説明図】



第3段階切替後の状況 (平成25年1月21日撮影)

5. おわりに

・本箇所の工事から搬出する残土が、約19万m³あり、土砂の掘削・小名浜港への運搬・東港への海上運搬の計画策定及び関係機関との調整に苦心した。また、1日当たり最大45台のダンプトラックを使用しているため、運搬路周辺の住民への環境対策として運転者への安全教育を徹底した。これまで過酷な現場条件の中、1日も現場を止めずに無事故で工事を進めて来たが、今後も「いわき石川線の復旧無くしていわき市の復興無し！」をスローガンに、品質の高い施工監理を実践しながら大規模地すべり災害の復旧工事に挑み続けていく。